

# ショートステイ in シンガポール

## 報告書

2025年11月



NPO リトル・クリエイターズ

〒107-0062 東京都港区南青山 2-2-15-1403

Tel. 03-6869-7282

Email. [contact@littlecreators.jp](mailto:contact@littlecreators.jp)

[www.littlecreators.jp](http://www.littlecreators.jp)

## はじめに

2025年8月、2023年12月に引き続き、児童養護施設 聖園子供の家（神奈川県藤沢市）の中学生3年生と高校生1年生の2人をシンガポールでの短期滞在プログラムに招きました。2023年の時のフィードバックを念頭に、時期を変え、プログラムの内容も少し変更しての開催でした。

前回からこのプログラムに賛同し受け入れ先となってくれたシンガポールの文化教育施設 10スクエア、ホスト・ファミリーとなってくださった Mary Loh 様とそのご家族、Chew Yang Hai 様とそのご家族に、先ずもって心よりの御礼を申し上げます。滞在期間中、2人を心から歓迎し、受け入れ、導いて下さいました。同じく、快く2人を送り出してくれた聖園子供の家の施設長 野際様、杉原様ほかスタッフの皆様にも感謝を申し上げます。

子どもたちにとっては初めてのことなのに、2度目の開催とあって私たちに驕りはなかったか。2度目だから、シンガポール・サイドに甘え過ぎてはいなかつたか。報告書をまとめながら、今更、反省をしております。それでも、このプログラムに参加を希望する子どもたちがいる間は、続けられるよう努力を重ねて参りたいと思っています。今後も平和の中に成長がある関係が、シンガポールとも次世代とも続けられますように。

リトル・クリエイターズ

世界中で自国ファーストを謳い、まずは自分のことから、自國のことからと考える人が多くなってきた様子だ。確かに自分の生活が安定し余裕がなければ人と寄り添うこと、人を助けることは難しいかもしれない。それでも、助け合うコミュニティがあるからこそ人間社会が成り立っているように思う。ましてや、国際社会という言葉が証明するように、自分だけでは、自國だけでは生活が成り立たなくなっている。

私たち NPO リトル・クリエイターズは、児童養護施設で暮らす子どもたちが施設を対処した後、広い視野を持って社会の変化に対応しながら柔軟に生きていくことが出来るよう、その準備期間にどんな手助けができるのかを問い合わせながら活動を続けている。

## 経緯

リトル・クリエイターズは、恵まれない環境におかれた子ども（18 歳以下）が自分を表現し、人と出会い、交流する機会を得て、見えない障害を乗り越えて社会を生きていくための「夢」や「智慧」や「力」を育む手助けをすることを目的に活動している。シンガポールをはじめとするアジア各国の同じ志を持つ組織と協力し合い、アート（表現、創作）をツールに色々なプログラムを開催してきた。

その経験と成果から、リトル・クリエイターズでは青少年が短期でも海外で過ごして視野を広げることで、未来への希望を自らの目標に変えることができると確信し、2023 年にシンガポールでショートスティを行う本プログラムを開催した。参加した子どもたちには申し訳ないが、半ば実証実験のように開催した第 1 回目で参加者 2 人の成長ぶりに大きな手ごたえを感じたことから、2025 年に第 2 回目の開催を決定した。

## プログラム概要

参加者： 児童養護施設 聖園子供の家

高校 1 年生（16 歳）女子 1 人、中学 3 年生（15 歳）男子 1 人

渡航先： シンガポール

渡航期間： 2025 年 8 月 12 日 羽田発、シンガポール着

2025 年 8 月 18 日 シンガポール発、成田着 全 6 泊 7 日

ホスト・ファミリー： Mary Loh 家、Chew Yang Hai 家

共催（受け入れ先）： 10 スクエア（シンガポール）

主催： NPO リトル・クリエイターズ

## プログラム開催までの経緯

2024 年 8 月 参加者決定（選考は聖園子供の家）

9 月 「アートキャンプ 2024」開催

2023 年に渡航した 2 人共に、今回の参加者 2 人もコア・メンバーとしてシンガポール他アジアから来日した青少年のおもてなしを担当  
10 スクエアのスタッフに 2 人を紹介

2025 年 2 月 10 スクエアと実施計画について準備開始

5 月 24 日 参加者と「アートキャンプ 2024」に参加したシンガポールの子どもたちとのオンライン会議

7 月 参加者を含む聖園子供の家の子どもたちが JAL 整備場見学（飛行機に乗るイメージ作り）



- 7月29日 参加者への説明会①（主催・共催、概要、目的、シンガポールについてなど）
- 8月8日 参加者への説明会②（飛行機の乗り方、入国、日程についてなど）
- 8月12日 参加者 JALで渡星
- 8月18日 参加者 JALで帰国
- 10月19日 参加者 聖園子供の家にてシンガポールで体験したことの報告会開催

### プログラム内容/渡航中の行動

#### ■参加者に与えた渡航中の課題：以下の項目を意識しながらノートに日記をつけること

- その日にあったことを記録するだけでなく、参加者の思い出になるようにお菓子の袋や飛行機の切符等のモノを貼り付ける。
- 出会った人にコメントや名前を書いてもらう。
- 帰国後の報告会で、次にシンガポールに行けるかもしれない後輩たちに何を伝えたいかを意識する。

#### ■渡航中の注意事項：我慢をしないこと。

#### ■スケジュール

8月12日	到着
13日	シンガポール観光・見学 - マーライオン公園 - ガーデン・バイ・ザ・ベイ
	10スクエアの青少年と交流、夕食
14日	シンガポール観光・見学 - バトル・ボックス - チャイナタウン など
15日	ホスト・ファミリーと過ごす - (女子) バルーン・ミュージアム

- (男子) ユニバーサル・スタジオ・シンガポール  
\*途中、携帯電話をなくすアクシデントに見舞われ合流。携帯探しに没頭。

16 日	10スクエアの青少年とアート・クラス（ダンス、美術、音楽）に参加 10スクエアの青少年と観光、ショッピング
17 日	- オーチャード・ロード - ブギス ほか
18 日	帰国

参加者は期間中全て、Ms. Mary Loh と Mr. Chew Yang Hai のご家庭に滞在。

### 参加者からのフィードバックとプログラム報告会

8月18日、空港で2人の到着を待っていたスタッフのLINEに届いたのは「日本に着いたんだけど、税関の書類の項目がところどころわかんない」とのメッセージ。何度かやりとりをした後、無事にゲートを出てきたときは「よかったです」と安堵のためいき。夕食の希望は「寿司」だった。

10月19日に開催された報告会は、事前にリトル・クリエイターズが提供したパワーポイントのフォーマットに写真とコメントを入れ、それを投影しながら発表する形で行われた。帰国して間をおかず報告会をしたいと考えていたが、携帯電話を紛失したことから、それが戻ってくるかなど検討していたことにより遅くなった。報告会には聖園子供の家のスタッフのほかに、

小学生から高校生まで施設の入所者も出席し、発表後、子どもたちから沢山の質問が出た。また、将来参加したいと手を挙げた子どもも少なくなかつた。

発表の内容については、2人がまとめたパワーポイントの資料をそのまま報告とし、添付する。



## ホスト・ファミリーからのフィードバック

1. 準備 子どもたちがシンガポールに行く前に、ZOOM セッションを行うべきか。子どもたちについて、他にどのような情報を提供しておくべきだったか。

(ア) ホストする光栄をいただき、誠にありがとうございました。彼女はとても優しいお嬢さんで、とても明るい子です。情報（年齢、学年、趣味など）がもっとあれば助かったかもしれません。また、食べ物の好みやアレルギーも事前に知っておくべきでした。これらは話題にしづらいところもあります。例えば彼女が体調を崩した場合、私はあまり助けになれないと思いました。車酔い対策などを事前に知っていれば、より準備ができたかもしれません。

(イ) 若者たちを支援するプログラムに参加できることは、意義ある取り組みであり喜びです。より魅力的にするためにには、参加者の興味や関心（おそらく話題にできない背景情報も）についてより多くの情報を提供し、ホスト・ファミリーがどのように交流し、日帰り外出を計画すべきかを理解できるようにすべきでしょう。彼のように私たちよりずっと若い場合、好みを理解するのは簡単ではありません。例えば、彼が最も楽しかった瞬間として挙げたのは、他の若者たち（10 スクエア）と過ごす時間でした。これは理解できます。絆、関与、相互理解を深める助けになる世代を超えた活動を企画するのも、良いかもしれません。

2. プログラムの期間とタイミングに関して。長いか、短いか。春が良いか夏が良いか。
- (ア) ホストとしては、期間は丁度良いものでした。外出を楽しんでとても疲れて帰ってきたが、興奮していく日本の方達に話したくて、たくさんメッセージを送り合い、彼女は2時～3時まで眠りませんでした。これ以上友達から離れているのは、彼女たちにとって良くないかもしれません。
- (イ) 丁度良かったです。
3. 10スクエアのプログラムへのご意見・ご感想。
- (ア) なし
- (イ) 世代間交流（年長者（ホスト）と若者との間）
4. シンガポールでのショートステイ：リトル・クリエイターズへのご意見・ご感想。
- (ア) なし
- (イ) 上記と同様。これにより、年配者が理解や関与に苦労することなく、若者の視野を広げることがで  
きるでしょう。

## 10 スクエアからのフィードバック

1. 準備に関して。子どもたちがシンガポールに行く前に、もっと ZOOM での交流を深めるべきか？子

どもたちについて、他にどのような情報を 10 スクエアに提供すべきか。

はい、オンラインで顔合わせをするための Zoom セッションを行う方が良いでしょう。そうすれば、シンガ

ポールと日本の参加者が実際に会う前に互いを認識できます。

2. プログラムの期間とタイミングに関して。長いか、短いか。春が良いか夏が良いか。

期間はちょうど良かったと思いますが、シンガポールでは学校期間中だったため、シンガポールの子どもた

ちは週末しか日本人の友達と交流できなかつたのが少し残念だった。もし休暇期間中で、シンガポールの子

どもたちが日本人の友達とより多くの時間を過ごせたなら、期間はちょうど良かったのではないでしょ

うか。

3. ホスト・ファミリーについて。ホスト・ファミリーを見つけるのは難しいか。ホテル滞在を考える

べきか。

ホスト・ファミリー宅に滞在することで、日本人学生はシンガポールの本当のところでの生活体験がで

きるため、まずはホスト・ファミリーを探すことをお勧めします。ただし、期限を決めて、もしホス

ト・ファミリーが見つからないは代替案としてホテル滞在をプラン B とするのはどうでしょうか。

4. シンガポールと日本の子供たちは、交流を盛んにできると思うか。

これまでの経験と、シンガポール及び日本滞在中に子どもたちが交流する様子から、子どもたちが互いに交流し学び合う可能性があると判断しています。The RICE 社（10スクエア運営会社）とリトル・クリエイターズが関わる生徒層を考慮すると、これらの生徒が視野を広げ国際的に考える機会が確実に存在すると確信しています。

5. このプログラムをどのように改善・変更すればよいか。来年も同じプログラムを実施するとしたら、何か提案したいことはあるか。

将来に向けて、生徒に経験させたい学習内容を定義したり絞り込んだりすることを検討できるかもしれません。例えば文化に関する旅行であれば、計画段階からより多くの文化的要素を取り入れることが考えられます。予算とプログラムの枠内で可能であれば、各交流に多くの学生を参加させることでプログラムの到達範囲を広げることを提案できるでしょう。また、より多くの国々をこの交流に参加させることで、参加国全体における情報と学びの交換の可能性を高めることも可能かもしれません。

10スクエアの生徒の中で「アートキャンプ 2024」にも参加した Rey さん, Syukrina さん, Inani さんの 3 人が、事前のオンライン交流会に続いて滞在期間も、また新たに Syareen さん、Alvin さんが 2 人をお世話してくれた。温かい歓迎に感謝いたします。また、この場を借りて 10スクエアのスタッフに御礼申し上げたい。いつも辛抱強くお付き合いください、ありがとうございます。

## 聖園子供の家のフィードバック

1. 事前準備で大変だったことは何か。またリトル・クリエイターズにやってほしいことはあるか。
  - ・ 親権者の同意や、服薬中の薬の持参の書類が必要など、いろいろと書類、必要準備は多く大変だった。
  - ・ リトル・クリエイターズにやってほしいことではなく、自分たち自身が事前準備にある程度かかる時間が必要だったことを理解しておく必要があった。
  - ・ 親権者の同意の面で、今まででは大丈夫だったことが法律や扱いがかわることがあり、その部分をしっかりと理解して動くことが必要だった。
2. ホスト・ファミリーがいた方が良いかどうか。
  - ・ ホスト・ファミリーにはお世話になれたらしいと思いました。ホテルで一人で過ごすのは心細さがあるのかなと感じました。
  - ・ ホスト・ファミリーとの関りは継続してほしいです。事前の顔合わせやどのような家庭なのかを確認はできると良いと思いました。家での生活スタイル（洗濯機が使えなかったなどがあった）も事前にわかっていると準備がしやすかったと思います。
  - ・ ホスト・ファミリーがいてもらえることは、子どもたちにとって心強いと思います。ホテルでの滞在は誰を頼ったらよいかなど、心配は多いと思うので。ただ、不自由さを体験することも子どもたちの成長にとって良いことだと思うので、安心してみなさんが子ども達を預けられると思う方がいるかどうか

の基準で考えて頂いて良いと思います。もし探すことが難しい年があれば、また新しい形での滞在ができるても、その年の子ども達には良い経験だと思います。

3. 事前にもっと知っておきたかったことはありますか。

- 事前に何度も zoom をしていただき、とても助かりました。
- ホスト・ファミリーがどのような家族か、家庭によって違い（洗濯機が使える使えないなど）を教えていただけだと、より具体的に考えられたかなと思います。
- いろいろと zoom でも事前情報をいただき、勉強できたのは良かったと思います。ただ、参加する子どもたちにもよるかもしれないですが、今年度 zoom に職員がほぼ入らなかつたのは良くなかったかなと思いました。思った以上に話の内容が理解できていなかつたようで、空港到着直後からいろいろあったので、職員も一緒に説明を聞き、何度もやり取りが出来た方が良かったなど、こちらの反省にはなりますが思いました。

4. 渡航に聖園子供の家のスタッフあるいはリトル・クリエイターズのスタッフが同行した方が良いかどうか。

- 大変ではありましたが、必要な経験だったと思います。今回のようにやり取りしながら対応して頂けるのであれば、また事前準備ができるのであれば、同行無しでよいかと思います。
- 迷うのも初めての海外の良い経験になったと、2人の話を聞いて思いました。同行はなしでよいと思います。

- ・ 行きも帰りも空港でかなりの時間は要しましたが、それも良い経験だと思います。1で記載した通り、事前に職員も一緒に勉強をしたり情報を共有しておくことが必要だったと思いました。

#### 5. プログラムについてどう思うか。

- ・ 特にありません。
- ・ 観光も文化的な体験もできてよかったです。同世代の方と交流が出来たことも、嬉しかったようです。
- ・ プログラム自体について、気になった点はありません。ただ、可能であればホスト・ファミリーの方たちと過ごす時間の内容に関しては、zoom等でやり取りをさせていただけだと、事前の見通しが立ちやすく良いのかなと思いました。「こういうことをしてみたい」ということは中々子ども側からは出ないと思いますが、「こういうことを一緒にやってみたいと思っている、こういう体験はどうかな？」などとホスト・ファミリーの方たちと事前にやり取りをさせていただけだと、子どもとの楽しみになり、不安は軽減するのかなと思いました。

#### 6. 英語学習への姿勢について。

- ・ 変わったと思いたいところですが、行動に移すにはもう少し時間がかかるように思います。
- ・ 「もっと話せたら楽しかったなー」言っていたのが印象に残っています。
- ・ おととしの2人もそうでしたが、シンガポールへ行ったことで英語に対する姿勢が変わっているかというと、どうなのかなとは思います。ただ、行って帰ってきたことの自信や、自分に英語力が足りないと思うこと、意外と英語が話せなくても言われていることはなんとなく理解できる、コミュニケーション

はとれるという思いにはなっていると思います。また行ってみたいという思いから、少しずつ姿勢が前に向かってくれるといいなとは思います。

#### 7. ショートステイをとおして参加者に変化はあったか。

- ・ どのような準備が必要なのか、荷物は何が必要なのか考え、できることは自分で準備し、大人に手伝ってもらいたいことは頼み、渡航に備えることができたと思います。初めての経験ができる子どもは限られていますが、メンバーに選んでいただけたということが、何より二人の力になっていたと思います。  
渡航直後や帰国直後には、大変だったこと、辛かったことを多く口にしていましたが、それでも日が経つにつれ、楽しかった、また行きたい、と口にすることが増えていく様子が印象的でした。全てがうまくいく訳ではない中で、それでも何とか 1 週間やりきったという経験は、今後の二人の支えになると思います。
- ・ 話を聞く限り、良いことしかなかったのかなと思います。前回行った子どもたちからいろいろ話を聞いていた、楽しみにしていたことをほとんど体験できたようでした。職員がいない状況、日本語が通じない状況という今までにない環境で 1 週間生活するという体験ができて、良かったと思います。
- ・ 特別なプログラムに選ばれた、という思いは良い変化、自信につながっていると思います。また、上記にも書いたように、日本語が通じない環境、その中でも意外と英語が理解できること、コミュニケーションはとれるということは自信になっています。ただ、細かいニュアンスが伝わらないもどかしさも体験できたと思うので、言葉を伝える大切さにも気づいているように感じます。

## 8. 日記はちゃんとつけていたでしょうか。

- 彼女は毎日書き、帰国後見せてくれましたが、彼は書いていないと話していました。睡眠不足と疲れで取り組めない部分もあったようです。少しでも書けると良かったと思います。
- 帰園して見せてもらったところ、日々少しづつ書いている様子でした。
- 彼女はしっかり書いており、彼はほとんどかけていない様子でした。もともとの得意不得意もあるので一概には言えませんが、せっかく行った海外の思い出を、鮮明なうちに記録に書き起こしておけるというのは大切だと思います。苦手な子には何かベースがあると（1日ごとに食べたもの、楽しかったこと、行った場所等）ハードルは少し下がるのではないかと思いました。

## 9. 報告会での2人の発表の評価。

- 彼女は、言葉を選びながら不安になりながらも言葉をつむぎ、彼女らしい発表だったと思います。緊張しながらも経験と感謝を言葉にしようとしている様子が伝わってきました。彼は、スライドが出来上がるか、ギリギリまで心配でしたが、当日は想像以上にしっかりと発表で驚かされました。文字を読み上げるのみではなく言葉も添え、これだけの力があるのかと思いました。今後もこのようなかたちでの発表を継続して頂けたらと思います。しっかりと発表できたことが、自信にもつながると思います。写真の取り込みには苦戦しているようでした。
- 彼女の作成を手伝ったのですが、事前に頂いていた参考資料と違う形で作ってしまい、申し訳ありません。2人とも楽しかっただけではなく、具体的に話をしてくれて、聞いている方も楽しいものを発表出来ていたと思います。

- ・ スライドの作成はギリギリまで出来ずにひやひやとはしましたが、頑張って作り上げていたと思います。彼女は作成から事前に伝えたい内容の原稿まで用意し、しっかり発表が出来ていたと思います。彼は本当にできるのか心配だけでしたが、いろいろとアドリブも入れながら楽しかった思い出、勉強、体感できたことからをきちんと伝えられたと思います。

#### 10. 今後もこのようなプロジェクトを続けるべきか。

- ・ ぜひ続けていただけたらと思います。海外への渡航が貴重な経験であることを知っていても、施設のみでは叶えることが難しい現状です。準備、渡航、発表の流れを傍でみていて、成長と、それでもともと彼らが大きな力を持っていることを強く感じました。ぜひ他の子どもにも経験して欲しいと思います。  
また、今回経験させて頂いた二人も、何かのかたちでまたこのプログラムに関われたらと思います。ありがとうございました
- ・ ぜひ続けて頂きたいです。小学生の子ども達も身近な年上児が海外という場所に行ったということで、いつかは自分が、というワクワクな気持を持ってくれていたように感じました。
- ・ ぜひ続けて頂けたらと思います。施設の子ども達は大人がいる環境に慣れており、いろいろなサポートはもらいながらも自分たちだけで何かを成し遂げるという経験が少ないです。それがましてや海外で日本語も通じないところで、安全ではありながらも不自由さ、日本では体験できないことを体験できるという経験はとても素晴らしいことだと思います。次年度の受け入れも含め、子ども達がいろいろな環境の方と触れ合う、コミュニケーションをとるという経験は、とても貴重だと思います。

## おわりに

脆弱な立場で社会に出ていかなければいけない子どもたち

が「アウェイ」の環境で過ごしてみることで、何かに挑戦

することへの勇気と自信を培い、今いる世界とは違う世界

にも可能性があることを肌で感じ、未来に向けて自ら道を

拓くきっかけを得ることができると考え、当該企画の 2 回

目を開催しました。

今、リトル・クリエイターズとして、丁寧さが欠けていた

と反省しきりです。1 回目でできたことは今回もできると

考え、準備におごりがありました。丁寧さが欠けていまし

た。まずホームステイ先の決定時期とホームステイ先とのコミュニケーションです。The RICE 社が面談して

ホームステイ先を選んでくれましたが、時期的にもっと早く探していただき、オンラインで子どもたちと事

前に会ってもらうべきだったと考えています。また、7 日間のホームステイが無理なら、数日だけでもステイ

させていただくというような柔軟性も必要かもしれません。他にも、日本とシンガポールの子ども同士のオ

ンライン交流も数を増やす必要があります。

反省点を上げだすときりがありません。それでも、参加した 2 人が楽しかったと笑顔を見てくれたのは喜

ばしい事です。沢山の子どもに笑顔を浮かべてもらえるよう、当該企画も、別の企画も、日々の活動も丁寧

に行ってまいります。

リトル・クリエイターズ

リトル・クリエイターズの活動に賛同いただけ  
るようでしたら、ぜひご寄付をお願いいたします。  
お預かりするご寄付は全て、恵まれない環  
境におかれた子どものために役立てます。

### 寄付専用口座

三井住友銀行 新宿支店

(普通) 4145884

トクヒ) リトル・クリエイターズ

### コングラント・サイト

(クレジットカードでのご寄付が可能です。)



# ショートステイ in Singapore

2025年8月12日～2025年8月18日



聖園子供の家 NPOリトル・クリエイターズ The RICE



Little Creators

## Host Family

ホストファミリーの方の名前はメアリーさんです。

とても優しくしてもらい、共通の趣味（K-POP、音楽好きなど）で話が盛り上がったのがとても楽しかったです。

展示会や食事に連れてってもらったり、ドライブにも連れてってもらったのがすごく楽しかったです。

スマホなくしちゃったので、一緒に撮った写真がないのが残念です。



ホームステイ  
したお部屋

# Food & Drink



ベーコンエッグはメアリーさん  
が朝食に作ってくれました。

右下の写真の中華系のパン（名  
前は聞いたけど忘れちゃいま  
した）もおいしかったです。

お米は細長くてぱさぱさしてい  
て苦手だったなど食べべに行つたチキ  
アンライスはとても美味しかった



## City

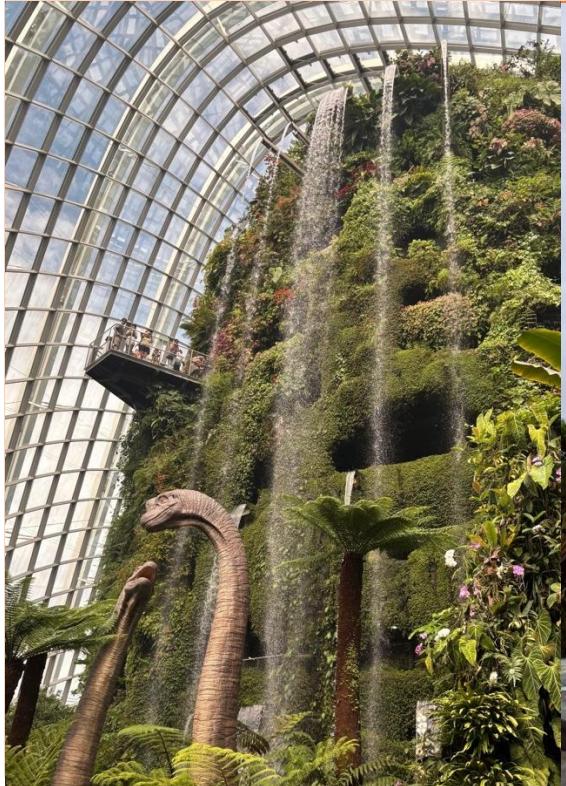
一番印象的だったのが、色合いがカラフルだったことです。大きいところだけでなく、細かい所もとてもきれいでした。

後は東京の様に高いビルがたくさんあって、「都会だなあ」と思いました。

校外の住宅地のビルも高かったり、車が多くかったです。メイン道路じゃなくて入り組んでる道路も多かったなと思います。

あとはシンガポールはゴミもなくて、凄い綺麗だと思ってたけど、ゴミがあったり生活感があるなと思いました。

# Memories – People & Landscape



- 楽しかったところ1つ目は
- ジュラシックパークです。
- ここはとても広くて、
- 恐竜がリアルに動いていて
- 迫力満点で楽しかったです！

3つ目はバトルボックスです。

ここは戦時に地下指令室として実際に使用されていたそうです。

今は博物館となっており、戦争の大変さなどを少しですが学ぶことが出来ました。

2つ目は  
ガーデンズ・バイ・ザ・ベイ  
です。

ここは広い敷地に植物の展示がたくさんありました。初めて見る植物もあり、綺麗な植物ばかりで感動しました。

4つ目はチャイナタウンです。

ヒンドゥー教の寺院である『スリ・マリアマン寺院』に行ってお祈りの仕方を学びました。

とても複雑で難しかったですが、真似ながら取り組むことが出来ました。ショッピングをする場所もあり楽しかったです。

# Cultural Event

どれも楽しかったですが、一番  
しかったのは10スクエアのみん  
なとショッピングしたり体験型  
の授業を受けたりしたことが一  
番思い出に残っています。

初めて経験することがたくさん  
あり、楽しかったです！

みんなは優しくて、ラフに日本語  
とか簡単な英語で話してくれて、  
同年代で楽しかった。

道、建物、言葉など聞いたことを  
親切に教えてくれて嬉しかったで  
す。

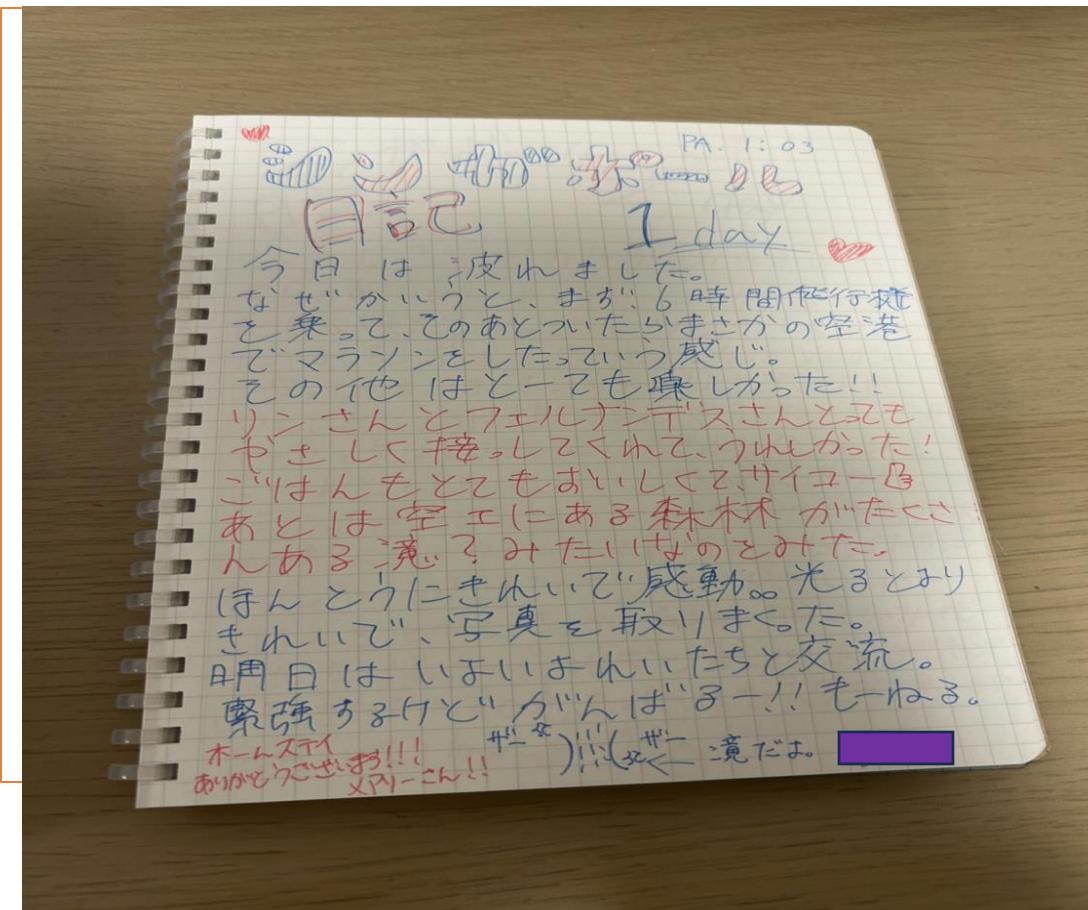


10スクエアの  
みんなに協力し  
てもらって色合  
いを考えました

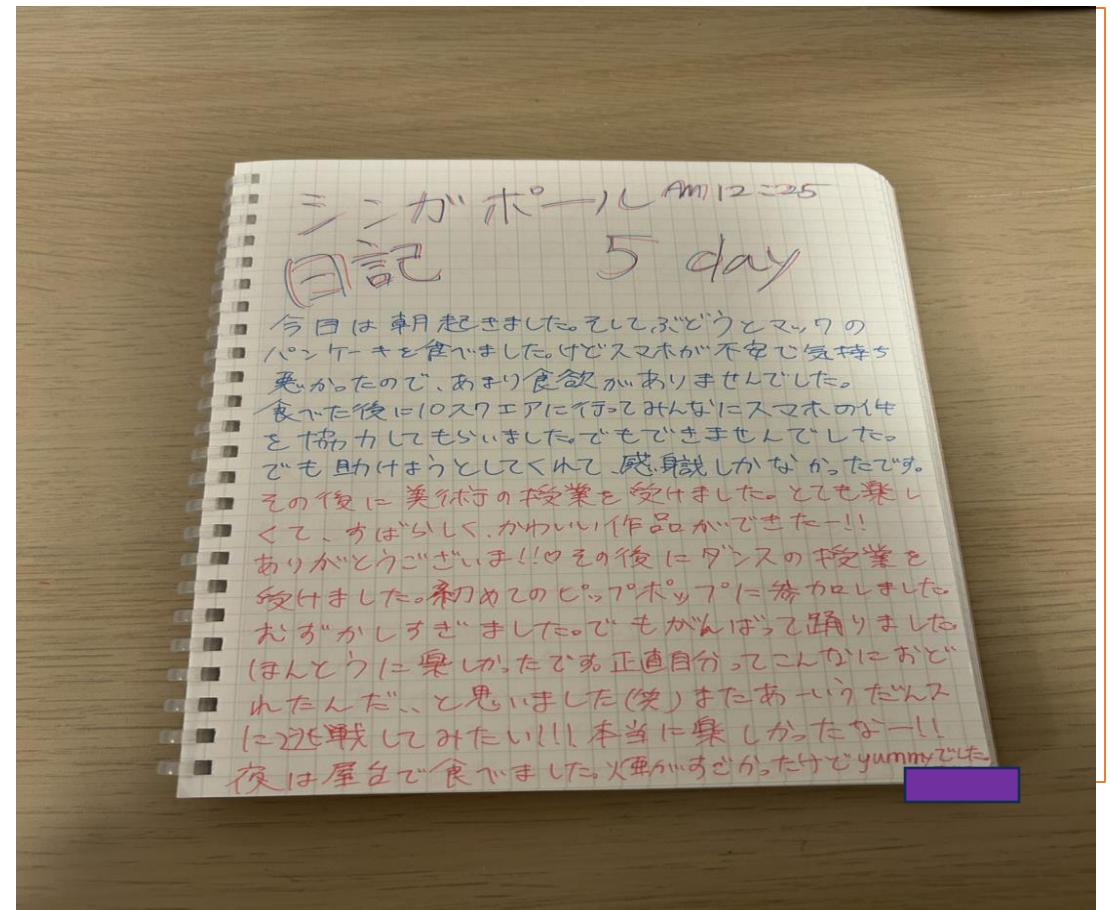
ダンスは10スクエ  
ア以外の子たちもい  
て、色々な子と交流  
できて楽しかった

# Diary

8月12日



8月16日



# About Myself

- シンガポールに行って、自分自身が変わったな、と思うことはありますか。どんなところですか。  
→ありました。英語をもっと勉強しようと思いました。
- シンガポールから帰ってきて、新しく挑戦しようと思うこと、頑張ろうと思うことはありますか。それは、なんですか。  
→英語を使ってもっとコミュニケーションを取れるように頑張りたいです
- シンガポールにまた行きたいと思いますか。なぜですか。  
→思います。町がとてもきれいで、みんな優しかったからと、有名な観光スポットをもう一度ゆっくり見たいからです。
- シンガポール以外の国にも行きたいと思いますか。なぜですか。  
→思います。シンガポールに行ってみて国の良さや文化を知れたので違う国に行って文化や街の雰囲気を知りたいと思ったからです。海外旅行が楽しかったことも行きたい理由の一つです。

# For the Next Generation

- 来年以降、聖園にいる他の子にも同じようにシンガポールに行くチャンスがあるといいと思いますか。なぜですか。

→いいと思います。2人だけで飛行機に乗って海外に行く事は私も不安が多かったけど、いろいろなことを学び、知識も増えたと思います。

だから他の子もシンガポールとか行く機会があったら、きっと楽しいたくさん勉強できると思うからです。

- 次に行くかもしれない子たちにアドバイスをするとしたら、何をアドバイスしますか。なぜですか。

→簡単な英語は話せるといいと思います。何となく言っていることは分かって聞くことはできたから、話すことが出来たらもっと楽しいと思います。

あとは空港の出方とか、分からなくて迷ったこともたくさんあるので、先に色々勉強したことをシッカリ思っているといいと思います。

あとはスマホはなくさないように、ズボンには入れないようにした方が良いです。

# To the Host Family & Supporters

メアリーさんは好きな音楽の話とかいろいろな話がてきて、本当に楽しかったです。色々なところに連れて行ってもらったり、ご飯も1人で食べた方がゆっくりできるんじゃないかなと、1人にしてもらう時があって気を遣ってもらったり、本当に優しくしてもらって嬉しかったです。

リトルクリエイターズの方たちは、行く前から着いた時の空港で迷子になった時も、たくさん助けてもらいました。最初は本当に不安でしかたなく心配がたくさんありましたが、でもいざ飛行機乗ると安心していました。初めての海外、初めての場所でいろいろなことを学び、知識も少し増えたと思います。次に海外に行くことがあったら、今回経験を生かして頑張ります！6日間の、素敵な時間を体験させていただきありがとうございました！

ご清聴ありがとうございます。

Thank you !

# ショートステイ in Singapore

2025年8月12日～2025年8月18日



聖園子供の家 NPOリトル・クリエイターズ The RICE

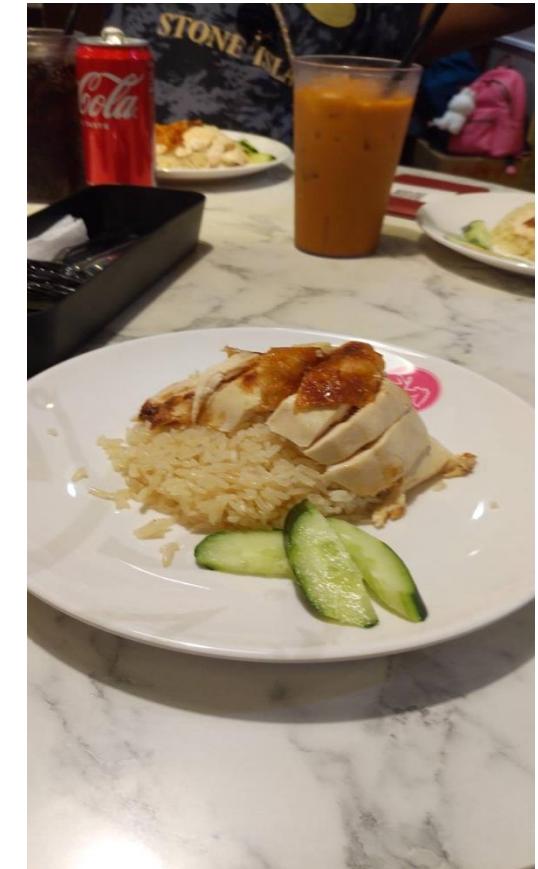
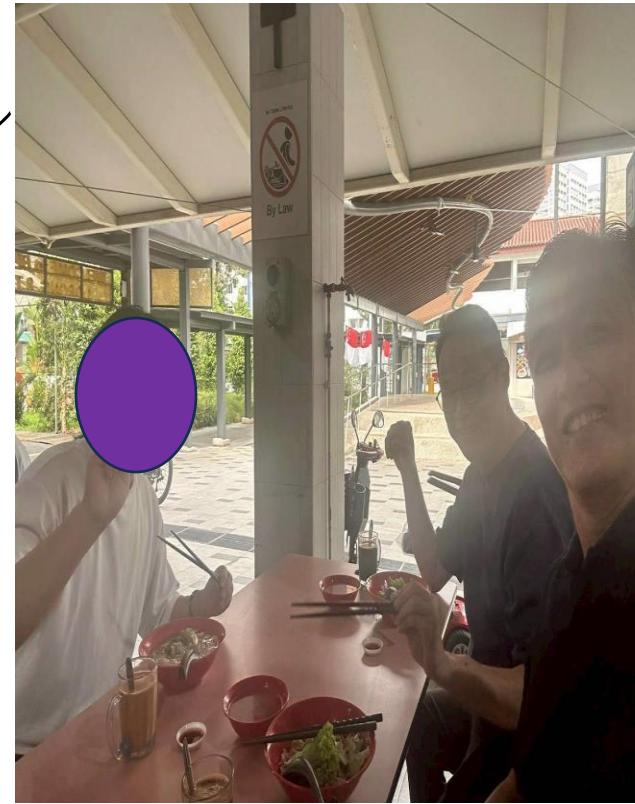


Little Creators

# Food & Drink

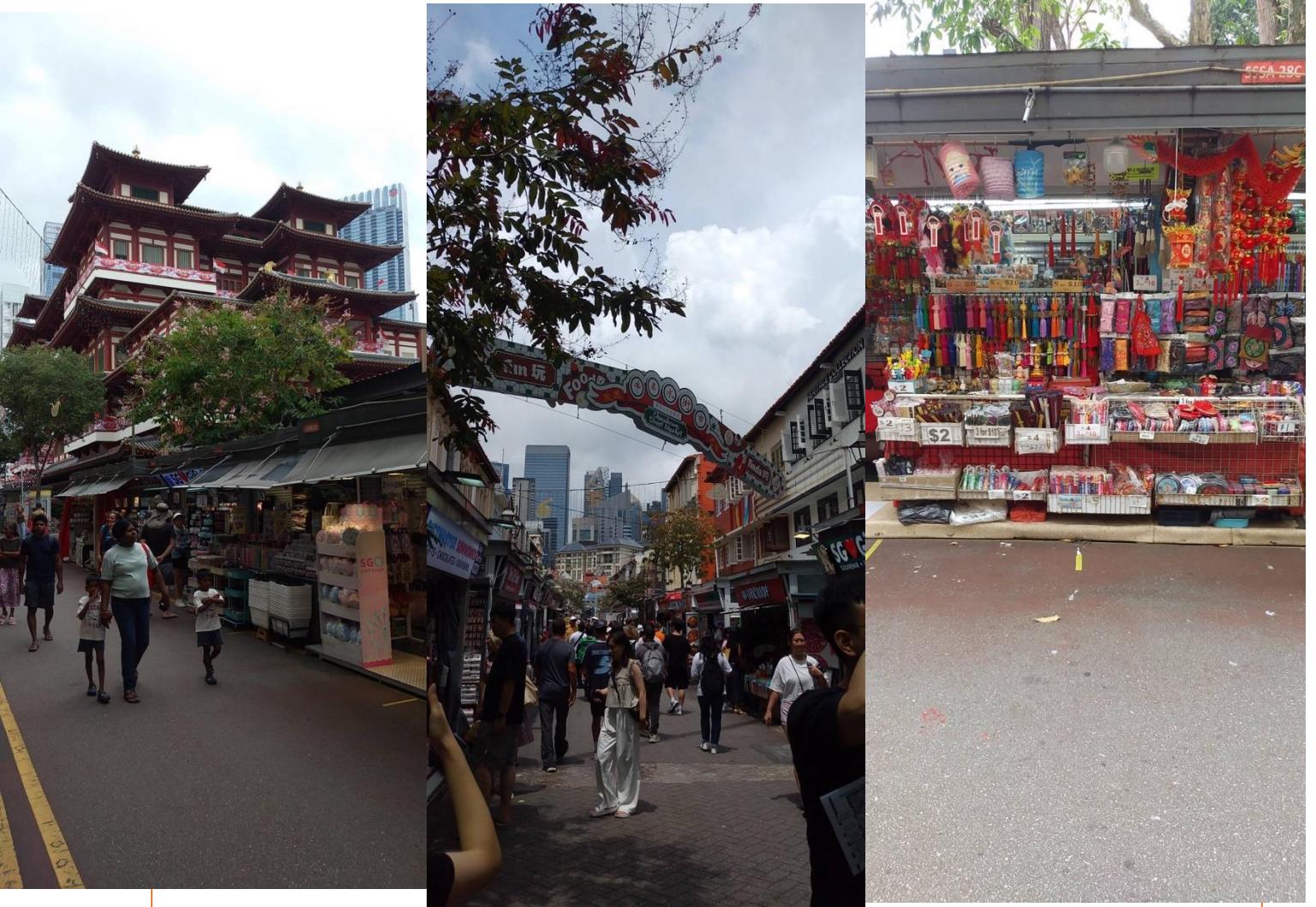
## ・チキンライス

シンガポールで有名なチキンライスを食べました。お店はKaitongを選びました。シンガポールで最も有名なお店だそうです。日本で食べているものとは風味が違い、違う料理のように感じました。



## ・ラーメン

ホストファミリーの友人に毎朝近くの屋台に連れて行って貰いました。その友人の方は「シンガポールラーメン」と話していました。日本で食べているものよりこってりとした味がしました。



# City

シンガポールの人達の陽気な性格の影響か、町中の雰囲気も日本とは違ったものでした。特に印象に残った2つを発表します。

事前学習でシンガポールはポイ捨てに厳しい国であると学びましたが、実際は日本よりも町中にゴミが落ちている印象を受けました。

また、日本とは違い建物が赤や緑など派手な色であることが多く、日本の落ちついた街並みとは違いキラキラしていました。

# Cultural Event

・オンラインで話した通り、言語が通じず翻訳を頼りにしていました。ただ、一緒に絵を描くなど言語以外のコミュニケーションを通じて仲良くなることができました



(写真。何枚でも)



# About Myself

- シンガポールに行って、自分自身が変わったな、と思うことはありますか。どんなところですか。  
特に変わったとは思いませんが、また会う機会が来る前にもう少し英語の勉強をしようと思いました。
- シンガポールから帰ってきて、新しく挑戦しようとすること、頑張ろうと思うことはありますか。それは、なんですか。  
英語の勉強、特に話す分野を頑張りたいと思いました。
- シンガポールにまた行きたいと思いますか。なぜですか。  
行きたいです。  
理由は単純に旅行が好きなのと、また新しい友人を海外で作りたいと感じたからです。
- シンガポール以外の国にも行きたいと思いますか。なぜですか。  
行きたいです。  
去年日本に遊びに来てくれた人の中にシンガポール以外の国から来た人もいたので、その人たちの国にも行きたいと感じたからです。

# For the Next Generation

来年以降、聖園にいる他の子にも同じようにシンガポールに行くチャンスがあるといいと思いますか。なぜですか。

いいと思います。

海外で友達を作つて海の外で頼れる人がいると心強いと感じたからです。

次に行くかもしれない子たちにアドバイスをするとしたら、何をアドバイスしますか。なぜですか。

英語圏の人だけではなかったので、スマホの翻訳機能には非常に助けられたので使つた方がいいと思います。

私は帰りの空港で手続きに時間がかかったので、ネットなどで予習していったほうがいいと思います。

# To the Host Family & Supporters

まず、ホストファミリーのチューさんへ、約一週間お家にいさせてくださいありがとうございました。顔も知らぬ自分を受け入れて下さったこと、とても嬉しかったです。機会があればまたお会いしたいです。

そしてリトルクリエイターズのみなさん、今回シンガポールに行く機会を下さり本当にありがとうございました。海外に行く機会は一生に何回あるか分からぬ貴重な経験となりました。初めて海外へ行き、沢山思い出をつくることができました。聖園を出てからも自分の力で海外へ行きたいと思いました。

ご清聴ありがとうございます。

Thank you !